

石巻北高等学校飯野川校 令和7年度第1回学校評価

目的 今年度の教育目標・学校経営方針に基づき、主に「学ぶ意義や学習の必要性」、「体験と経験」、「自己評価」「主体性」について、授業や特別活動をとおして生徒に意識させ、身に付けさせる教育活動が実践できているかを調査した。

対象 全年次の生徒及び保護者(教員には実施しなかった)

実施日 令和6年7月17日(水)から7月22日(月)まで

内容 以下の質問(10項目)について、「当てはまる」「だいたい当てはまる」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の4段階適合評価で実施した。媒体は生徒はインターネット、保護者は紙媒体とした。

【質問項目】

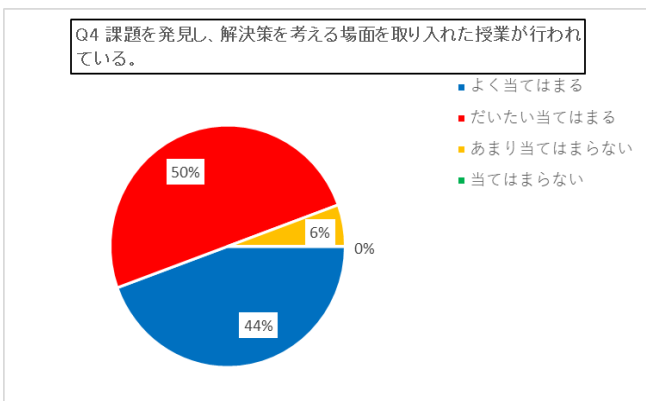
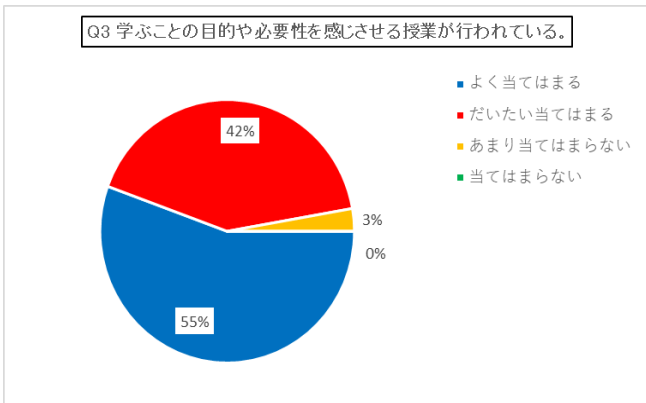
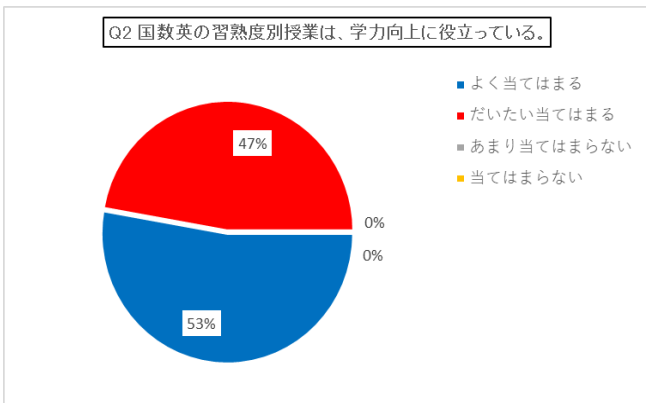
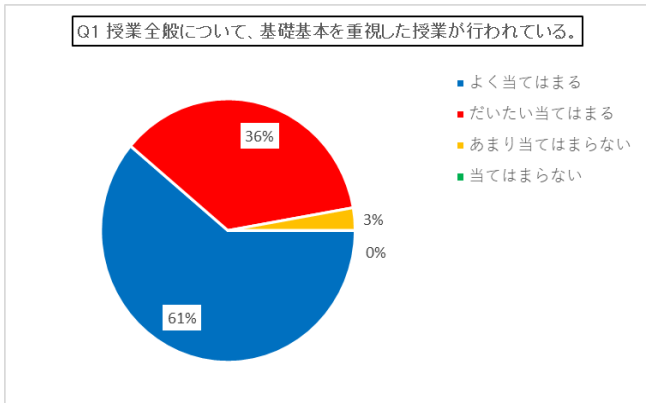
- Q1 授業全般について、基礎基本を重視した授業が行われている。
- Q2 国数英の習熟度別授業は、学力向上に役立っている。
- Q3 学ぶことの目的や必要性を感じさせる授業が行われている。
- Q4 課題を発見し、解決策を考える場面を取り入れた授業が行われている。
- Q5 他者と一緒に考える場面を取り入れた授業が行われている。
- Q6 自分の行動を振り返り、評価する力を養う機会が多く設けられている。
- Q7 生徒が主体であることを意識できる指導がされている。
- Q8 様々な活動において、生徒に判断を求める機会が多く設けられている。
- Q9 インターンシップやボランティア等をとおして、地域と共に生徒を育てようとしている。
- Q10 行事等は、生徒が主体となり、運営等に意欲を持って参加できる活動になっている。

結果 以降のページに生徒及び保護者の回答割合の円グラフを並列で示した。分析については本資料末に記している。

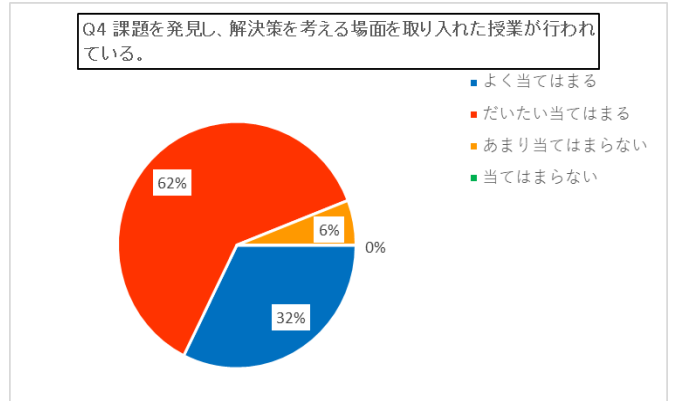
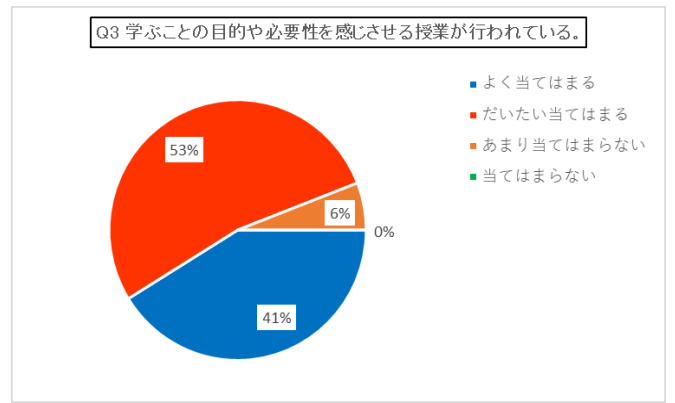
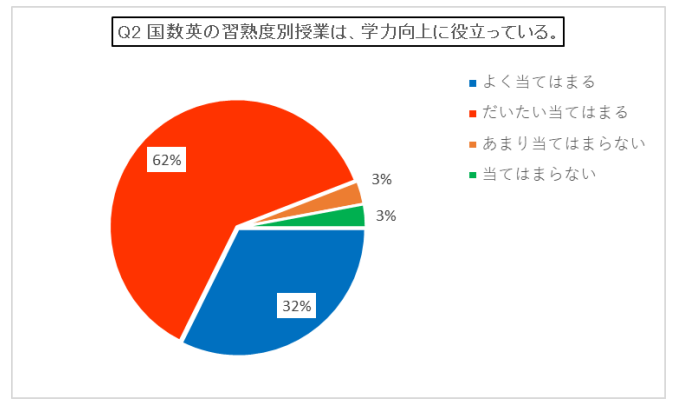
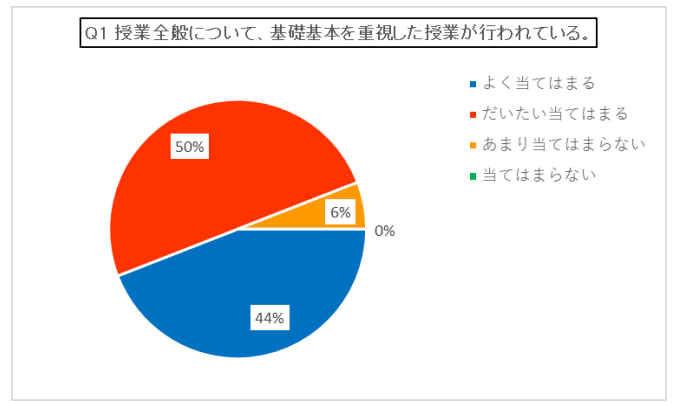
その他 今回の結果から見えてきたより強化すべき教育活動について、教員間で共有し、改善に向けた具体的な行動に繋げるようにしたいと考える。その成果については、11月に実施する第2回学校評価で見極めたいと考える。

令和7年度 第1回学校評価 「生徒及び保護者回答結果」

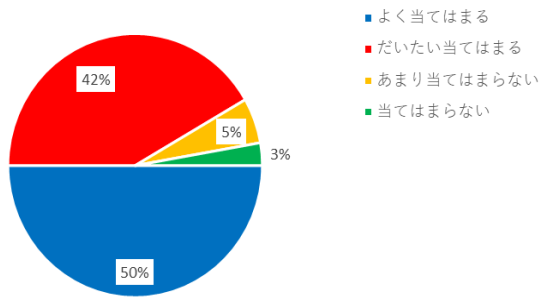
【生徒】（回答数：36名 回答率：88%）



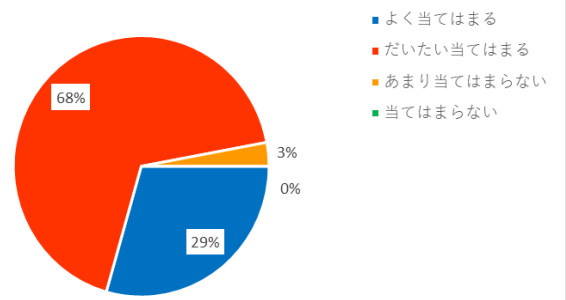
【保護者】（回答数：30名 回答率：71%）



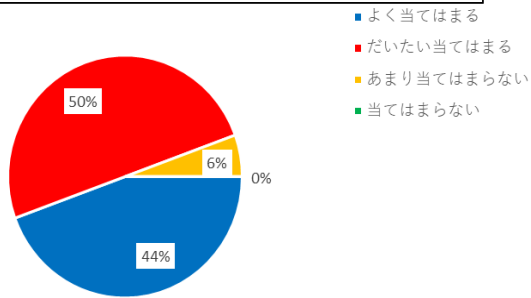
Q5 他者と一緒に考える場面を取り入れた授業が行われている。



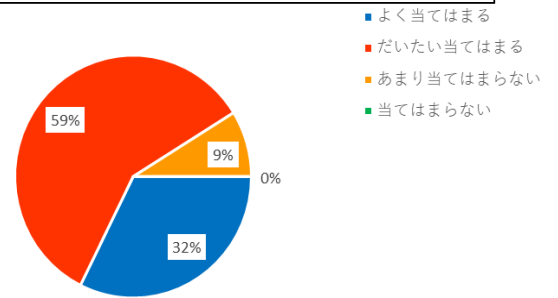
Q5 他者と一緒に考える場面を取り入れた授業が行われている。



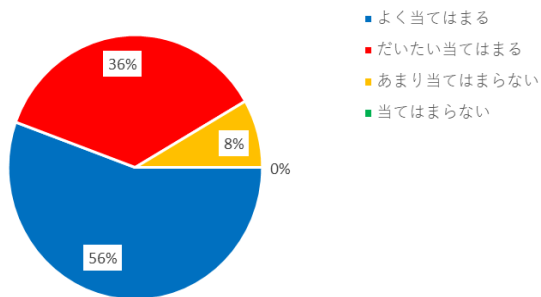
Q6 自分の行動を振り返り、評価する力を養う機会が多く設けられている。



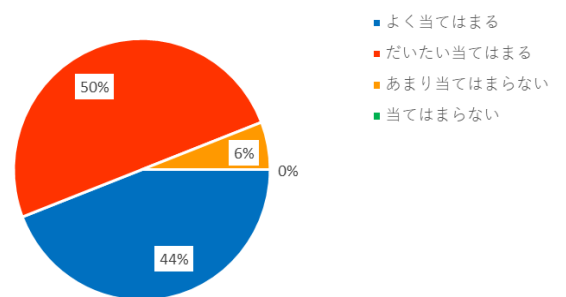
Q6 自分の行動を振り返り、評価する力を養う機会が多く設けられている。



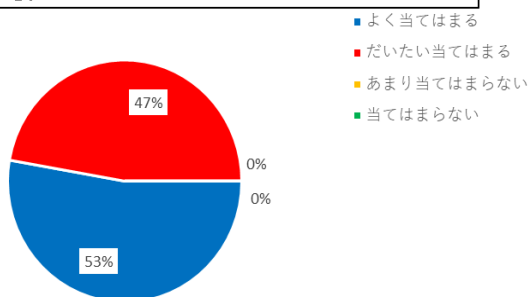
Q7 生徒が主体であることを意識できる指導がされている。



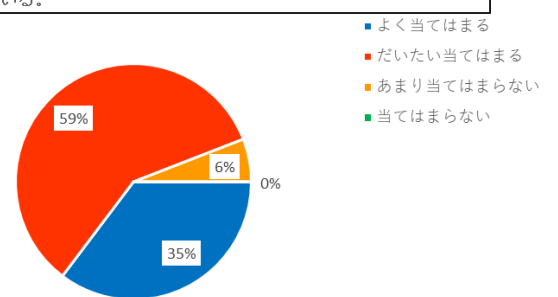
Q7 生徒が主体であることを意識できる指導がされている。



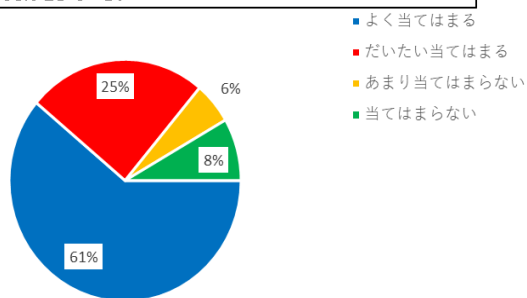
Q8 様々な活動において、生徒に判断を求める機会が多く設けられている。



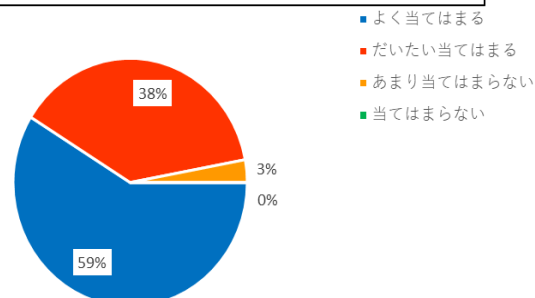
Q8 様々な活動において、生徒に判断を求める機会が多く設けられている。



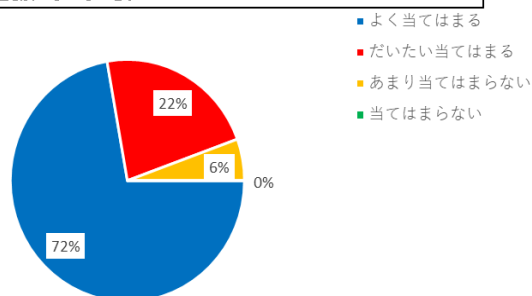
Q9 インターンシップやボランティア等をおして、地域と共に生徒を育てようとしている。



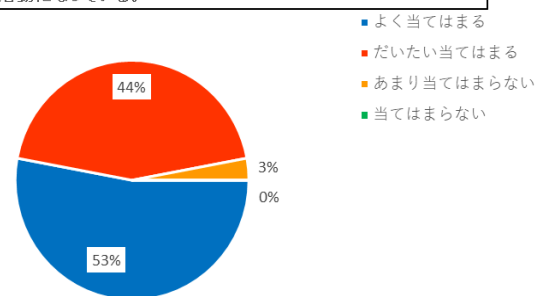
Q9 インターンシップやボランティア等をおして、地域と共に生徒を育てようとしている。



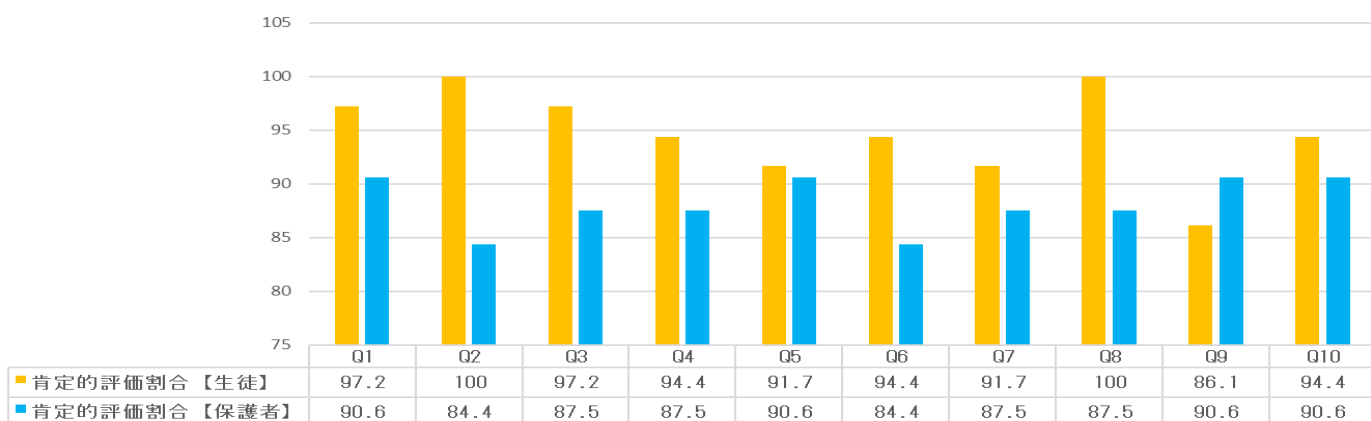
Q10 行事等は、生徒が主体となり、運営等に意欲を持って参加できる活動になっている。



Q10 行事等は、生徒が主体となり、運営等に意欲を持って参加できる活動になっている。



学校評価 肯定的評価割合 生徒、保護者比較グラフ



【分析】

◇どの項目も肯定的評価の割合が高い（生徒平均：94.7%、保護者平均：88.1%）

◇肯定的評価の割合について、生徒と保護者の間には弱い正の相関がみられる（ $r=0.34$ ）

◇生徒及び保護者ともに高評価のもの（90%以上のもの）

「Q1 授業全般について、基礎基本を重視した授業が行われている。」

「Q5 他者と一緒に考える場面を取り入れた授業が行われている。」（昨年度は生徒・保護者とも 80%台）

「Q10 行事等は、生徒が主体となり、運営等に意欲を持って参加できる活動になっている。」

◇生徒と保護者の評価の乖離が大きいもの（10ポイント以上の差のあるもの）

「Q2 国数英の習熟度別授業は、学力向上に役立っている。」（生徒:100% 保護者：84.4%）

「Q6 自分の行動を振り返り、評価する力を養う機会が多く設けられている。」（生徒:94.4% 保護者：84.4%）

「Q8 様々な活動において、生徒に判断を求める機会が多く設けられている。」（生徒:100% 保護者：87.5%）

【課題】

生徒からは1項目を除き、90%を超える高評価を得た。学習活動等を保護者に知らせる機会を作る必要がある。